

沖縄県における平成 24 年の毒蛇咬症

沖縄県衛生環境研究所

衛生科学班 上江洲由美子 寺田考紀 盛根信也

I はじめに

沖縄県における平成 24 年（2012 年）の毒蛇咬症患者はハブ咬症 46 件、ヒメハブ咬症 12 件、サキシマハブ咬症 33 件、タイワンハブ咬症 1 件の計 92 件であった。これは昨年を少し上回ったものの、過去 10 年間で 4 番目に少ない被害件数となった。今年はガラスヒバアやウミヘビ類等のハブ類以外の毒蛇による咬症事故は確認されなかった（表-1, 2, 図-1）。ハブ咬症による死亡者の報告もなかった。

最近 10 年間の傾向をみると、ハブ単独では 60 件前後とほぼ横ばいとなっている。サキシマハブ咬症は 20～30 件前後推移し、ほとんど変わっていない。ヒメハブ咬症も 10 件前後を推移している。タイワンハブは 05, 06, 08, 09, 10, 11, 12 年に咬症被害が報告されており、過去 5 年連続で咬症被害が発生している。ハブ類四種の合計でも 100 件前後とほぼ横ばいの状況となっており、80 件を超えなかったのは 2004 年と 2010 年のみである。

II 調査方法

沖縄県内で発生したハブ咬症による患者は治療を受けた病院から所管の保健所を通

じて、毎月薬務疾病対策課へ「ハブ咬症患者取扱報告」として報告される（はぶ抗毒素支給規定（昭和 47 年 9 月 14 日告示 105 号）第 10 条）。さらに、診療にあたった病院の協力によって「ハブ咬症患者調査票」（図-11）に基づき、受傷に関する詳細を患者から聞き取り、保健所を通じて衛生環境研究所に報告される。ハブ咬症患者調査票には記入漏れがある場合が多いため、直接咬症患者本人や病院に問い合わせ内容を補完した。しかし連絡の取れない患者もあり、充分とはいえない。

なお、被咬者が毒蛇の種類を確認していない場合には、八重山地域（石垣市、竹富町）では実害のある毒蛇はサキシマハブだけなので、サキシマハブとして集計した。一方沖縄諸島ではハブもしくはヒメハブの可能性が最も高く、また糸満ではサキシマハブ、名護市周辺や恩納村山田周辺ではタイワンハブの可能性も否定できない。だが、このようなヘビの種類が特定できない事例は、最も可能性の高いハブ咬症として集計した。

当該調査にあたっては咬症患者様及びその関係者の方々にはじまり、各医療機関の方々、ならびに各保健所職員には調査票の記入・報告等大変お世話になりました。厚くお

礼を申し上げます。

III 調査結果

1. ハブ咬症

平成24年のハブ咬症件数は昨年より16件減少の46件だった(表-1)。市町村別に見ると、糸満市の7件が最も多く、次いで国頭村の6件、久米島町の5件、名護市の4件、うるま市・八重瀬町・那覇市の各3件、伊江村・伊平屋村・沖縄市・西原町の各2件、東村・今帰仁村・宜野座村・北谷町・宜野湾市・南城市・南風原町の各1件でハブ咬症患者が発生した。なお、大宜見村・本部町・恩納村・金武町・読谷村・嘉手納町・北中城村・中城村・浦添市・豊見城市・与那原町・渡嘉敷村・渡名喜村の10自治体でハブ咬症が0であった(表-4、図-4)。

市町村合併で単純な比較はできないが、最近10年間の累計ではうるま市の他、糸満市、南城市及び八重瀬町を中心とする地域で咬症患者が多く発生している(表-3の1)。

2. ヒメハブ咬症

ヒメハブ咬症は国頭村で3件、本部町・名護市で各2件、大宜味村、東村、金武町、うるま市、糸満市で各1件の計12件であった(表-3の2)。ただし、上記のハブ咬症件数の中には咬んだヘビの種類を確認できていない場合が過半数を占めている。その中にはヒメハブ咬症も含まれていると予想されるので、ヒメハブ咬症の実数はもう少し多く、

その分ハブ咬症が少ないと考えられる。

なお、ヒメハブは毒牙が短く、毒量も少ないので、重症になることが少ない。ちなみに、これまでヒメハブ咬傷者の死亡記録はない。

3. サキシマハブ咬症

サキシマハブ咬症は、石垣市22件、竹富町10件、糸満市1件の計33件だった。前年より15件増加した。糸満市のハブ類咬症被害の件数にほとんど減少が見られないのは、サキシマハブ咬症の影響も考えられ、被害拡大が懸念される(表-3の3)。

サキシマハブもハブより毒が弱く、治療に際して血清を使わない事が多い。平成24年に血清を使用した患者は1名だった。

4. タイワンハブ咬症

タイワンハブによる咬症は名護市で1件だった。分布調査やトラップによる捕獲調査によるとタイワンハブの捕殺・目撃例も多いことから、今後も注意が必要である¹⁾(表-3の4)。

5. 人口1000人あたりの受傷率

ハブ・ヒメハブ・サキシマハブ・タイワンハブの4種の咬症患者の合計を市町村別に人口千人あたりの受傷件数(受傷率)で見ると、竹富町が2.60と最も高い。次いで、国頭村1.78、伊平屋村1.52、東村1.12、久米島町0.59の順になり、人口千人あたり受傷率0.50以上の市町村が5町村あった(表-5、

図-5,6)。今年、伊平屋村、久米島町、伊江島と離島での高い受傷率が目立つ。離島は人口が少ないため、受傷件数が少なくても受傷率が高くなる傾向はあるが、受傷件数はいずれも2件以上あることから、今後の推移には注目を要すると思われる。

ハブ類咬症者のいなかった市町村を除くと、受傷率の最も低いのは那覇市の0.0094で、これは人口約10万人に対しハブ類咬症者が約1名発生するという割合になる。ついで宜野湾市0.0107、沖縄市0.015と続いた。

6. 毒蛇の種類

沖縄県では、毒蛇による咬傷時に、咬まれた人が咬みついたヘビを目撃するのは咬症者全体のほぼ半数にすぎない。それは、ハブ類咬症のほとんどが見通しの悪い草むらや畑の中または夜間の暗がりの中で起こり、しかも咬んだヘビの多くがすぐに逃げてしまうため確認できないからである。さらに、ヘビを目撃した場合でも多くの人の種類を判別できない。

咬症患者がヘビの種類を確認できない場合は、咬症後の痛みと傷の状態から毒蛇に咬まれたか否かを判断することになる。被害を及ぼす毒蛇が1種類のみ八重山地方ではサキシマハブと判断できる。

沖縄本島とその周辺離島でヘビに咬まれ、毒蛇と判断されかつ種類を確認できない場合には、ハブの可能性が最も高い。次いでヒメハブ、ガラスヒバアの可能性がある。

ガラスヒバアは毒蛇であるが、形態的に毒牙が口内の奥にあるために、咬まれても毒が注入されることは稀であると考えられる。またカエルを主な餌とするので水辺に生息しており、ネズミを主な餌として生息域が人間の生活環境と交錯するハブとは異なり、人間との接触はかなり少ない。

アカマタは生息域がハブ類と共通である。攻撃的で、人間を咬むこともあるが、咬まれて種の確認ができない場合でも、傷口がU字型の多数の歯型からなることと、患部に腫れ、出血、強い痛みの症状を伴わないことから無毒蛇と確認できる。

一方、沖縄本島では自然分布しないサキシマハブ、台湾ハブ、タイコブラの3種の毒蛇が過去に捕獲されており、糸満ではサキシマハブ、名護市の一部とその周辺及び恩納村山田周辺では台湾ハブが定着している¹⁾。特にここ数年、糸満市でサキシマハブの増加が確認されており、毎年数人の咬症患者が発生するようになった。台湾ハブも05年以降は07年以外毎年咬症患者が発生しているが、ハブの近縁種である台湾ハブによる咬症はハブの抗毒素が有効であることが判明している²⁾。

タイコブラは1993年頃に捕獲された以外は20年近く目撃及び捕獲がないことから、定着している可能性は少ない。

7. 月別咬症発生件数

ハブ咬症は例年秋に最も多く、次いで初夏

に多い。また、冬期のサトウキビ収穫時にも若干増える。

平成24年は、ハブ咬症は10月が11件で最も多く、次いで9月に9件、6月に7件、2,5月に各4件、8月に3件、3,7,11月に各2件、4,12月に各1件の順であった。ヒメハブ咬症は5,10月に各3件、8月に2件、2,4,11,12月に各1件だった。サキシマハブ咬症は4月に7件と最も多く、次いで5月に4件、2,6,7,9,11月に各3件、3,8,10月に各2件、1月に1件だった。タイワンハブは10月に1件発生した(表-6、図-7)。

8. 保健所別咬症件数

ハブ属4種合計の保健所別届け出数は、八重山福祉保健所の32件が最も多く、次いで北部福祉保健所の27件、南部福祉保健所の17件、中部福祉保健所の10件、中央保健所の7件であった(表-7)。

9. 場所別の咬症発生件数

ハブ咬症の起こる場所は、例年畑が最も多く全体の約4割を占め、次いで屋敷内と家屋内を合わせて約3割、残りが道路や山林、草地などで発生している(表-8)。

平成24年は、畑での咬症件数が19件(40%)で、そのうちキビ畑が約半数の7件(15%)を占めた。次に多かったのが屋敷内の11件(24%)、屋内は5件(11%)で屋敷内も合わせた屋敷全体では35%となった。

なお残りは道路5件(11%)、山林・草地

3件(7%)、その他3件(7%)となった。

ヒメハブ咬症は、畑・屋敷内で各々4件(各々33%)、山林草地で2件(17%)、道路・その他屋敷外で1件ずつ(各々8%)であった。

サキシマハブ咬症は、畑が16件(49%)と最も多く、次いで、屋敷内が7件(21%)、山林草地で4件(12%)、道路が3件(9%)、不明が2件(6%)、屋内が1件(3%)の順だった。

タイワンハブ咬症は屋内(玄関先から屋外に出る際に受傷)の1件であった。

4種の合計では畑が39件(42%)で最も多く、次いで、家屋内と屋敷内を合わせた屋敷全体が29件(32%)それ以外の合計が24件(26%)であった。畑や屋敷全体という人の生活圏における咬症事例が多発しており、ハブの侵入を防ぐなどより一層の対策が必要である。

10. 時刻別咬症件数

ハブ類が夜行性であるにもかかわらず、ハブ類咬症は日中に多い。咬症者の約4割が畑で咬まれていることから、農業従事者の労働時間である日中にハブ類に咬まれることが多いためである(表-9,10、図-8)。

草地と山林での咬症も人間の活動時間である日中に多い。

道路での咬症は逆に暗い夜間や早朝が多い。夜行性であるハブ類は、道路のようなオープンな場所に日中出现するのはきわめて

稀で、ほとんどは、夜間に暗い路上を歩行中、ハブ類に気付かずに咬まれたものである。

屋敷内での咬症は昼夜の差はみられない。これは、夜間に侵入してきたハブ類に侵入直後に咬まれる場合と、侵入後、物陰に隠れていたハブ類に日中もしくは夜間に咬まれるためと推測される。

11. 咬症部位

ハブの場合、手指 13 件 (28%)、足 11 件 (24%)、前腕・下腿各 7 件 (各 15%)、手 5 件 (11%)、足指・頭部・軀幹各 1 件 (各 2%) であった (表-11、図-9)。

ヒメハブは手指 9 件 (75%)、足 2 件 (17%)、足指 1 件 (8%) であった。

サキシマハブは、手指 18 件 (55%)、手・前腕各 4 件 (各 12%)、足指 3 件 (9%)、足 2 件 (6%)、上腕・下腿各 1 件 (各 3%) であった。

タイワンハブは足 1 件である。

沖縄県での毒ヘビ咬症は、手足の先端に近い部分を咬まれることが多い。特にサキシマハブとヒメハブは体長が短いために攻撃距離が短く、咬症部位は身体の末端に限られ、頭部や胴体などを咬まれることはほとんどない。

12. 年代別、性別発生件数

4 種類の合計でみると、ハブ類咬症の多い年代は 50 代から 70 代にかけてである (図-10、表-12)。

咬症患者の性比は、男性 71 名、女性 21 名で男性が多い。これは咬症者数の最も多い畑での作業者が高齢の男性に多いことに起因すると考えられる。

平成 24 年の咬症患者の最小年齢は 22 歳の男性で、6 月 26 日午前 9 時 30 分頃、屋敷内の庭を歩行中、右足指を咬まれた。疼痛・腫脹・出血があり、すぐに病院へ搬送され、はぶ抗毒素血清を 6000 単位 (1 バイアル) 使用して 1 週間入院した。経過は良好で完全治癒した。

最高齢は 89 歳の男性で、3 月 1 日の 2 時頃、畑でキビ刈り作業をしていたところ右足指を咬まれた。疼痛・腫脹があり病院へ搬送されたが、はぶ抗毒素血清は使用されていない。経過は良好で完全治癒した。

13. まとめ

沖縄県における平成 24 年 (2012 年) の毒蛇咬症患者はハブ咬症 46 件、ヒメハブ咬症 12 件、サキシマハブ咬症 33 件、タイワンハブ咬症 1 件の計 92 件であった。これはここ 10 年では 4 番目に少ない件数である。咬症件数は 2000 年以前と比較すると減少しているが、畑や屋敷全体という人の生活圏における咬症事例が多いことから、日頃の対策が重要である。

また、ここ数年間、糸満市で起こっているサキシマハブによる咬症及び 2005 年から起こっているタイワンハブによる咬症という外来種による咬症が目立ってきている。その

対策として平成 24 年度から「危険外来種咬症対策モデル事業」を実施しており、危険外来ハブ類の分布調査や高密度化及び拡散の仕組みを調査研究し、効果的な防除手法の確立を目指している。当該事業の詳細報告については別途報告する。

参考文献

- 1) 寺田考紀, 「沖縄島に定着したタイワンハブ・サキシマハブ・タイワンスジオの生息状況と対策」, 爬虫両生類学会報, 2011(2), 特集: 爬虫両生類における外来生物問題とその対策, 161-168
- 2) 野崎真敏・香村昂男・勝連盛輝, 「沖縄県へ移入されたヘビの毒素について」, 平成 6 年度抗毒素研究報告書, 8-15

表-1 最近10年間のハブ類咬症発生状況

年	ハブ			サキシマハブ			ヒメハブ	台湾ハブ	計	
	件数	死	受傷率	件数	死	受傷率(*)	件数	件数	件数	死
03	63	0	0.051	23	0	0.222	7		93	0
04	43	0	0.035	22	0	0.211	3		68	0
05	67	0	0.054	26	0	0.247	13	2	108	0
06	62	0	0.049	30	0	0.283	10	2	104	0
07	61	0	0.048	27	0	0.253	8		96	0
08	65	0	0.051	21	0	0.196	8	1	95	0
09	55	0	0.043	33	0	0.306	7	1	96	0
10	48	0	0.037	21	0	0.194	9	1	79	0
11	62	0	0.047	18	0	0.166	5	3	88	0
12	46	0	0.035	33	0	0.303	12	1	92	0
計	572	0	0.045	254	0	0.238	82	11	919	0

受傷率: 人口1000人あたり受傷件数

*沖縄県におけるサキシマハブ咬症件数/石垣市、竹富町、糸満市人口合計×1000

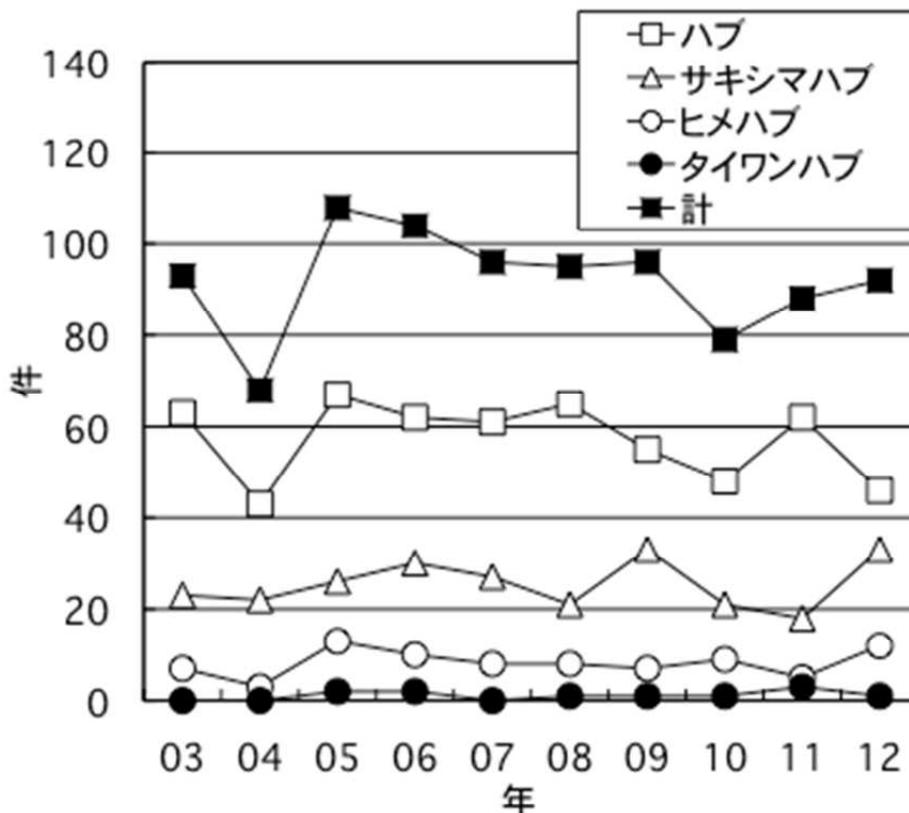


図-1 最近10年間のハブ類咬症発生状況

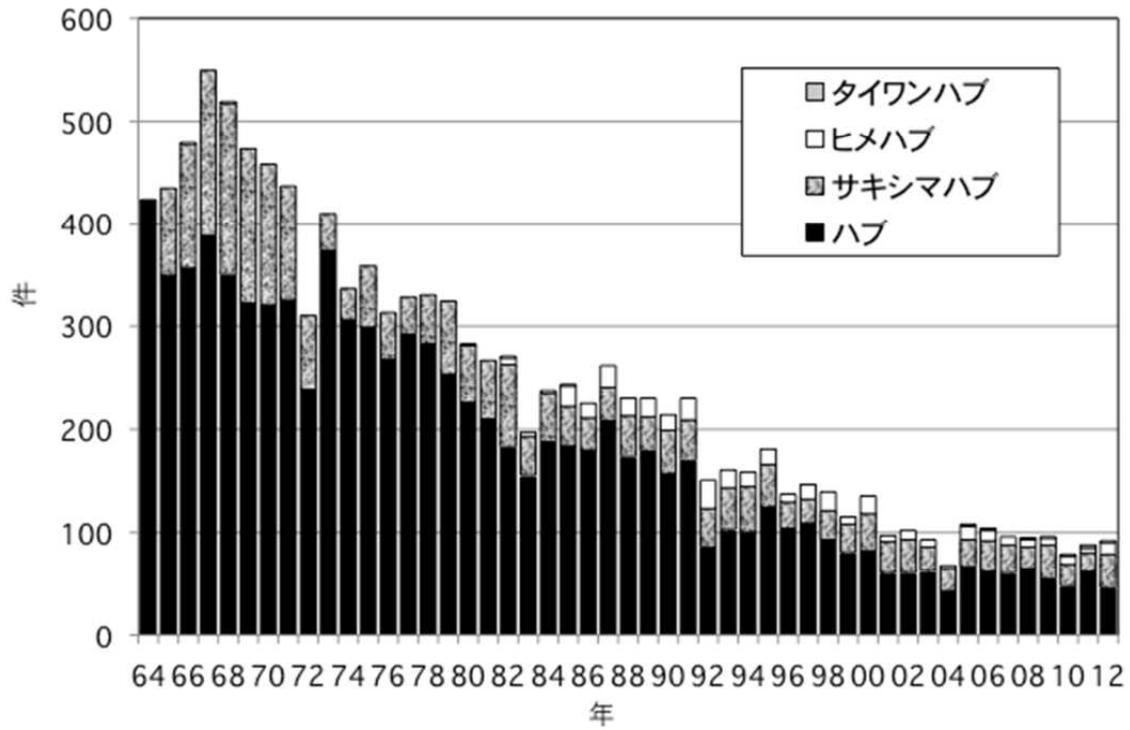


図-2 沖縄県のハブ類咬症の推移

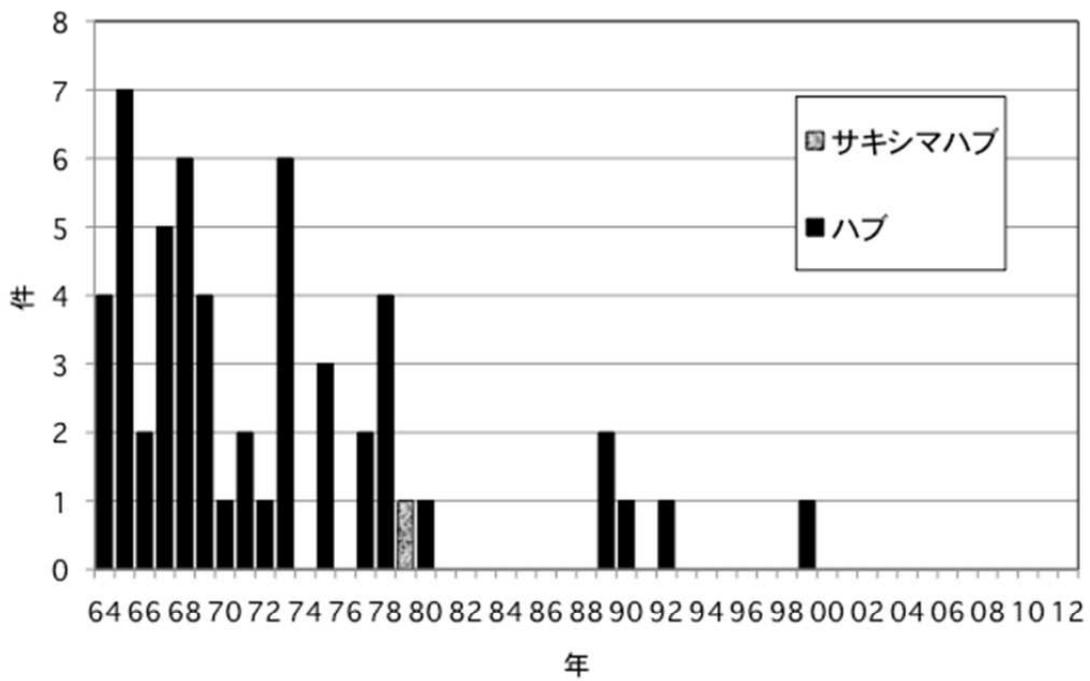


図-3 ハブ類咬症死亡件数の経年

表-2 沖縄県の毒蛇咬症件数の推移

年	ハブ	死亡 件数	サキシマ ハブ	死亡 件数	ヒメ ハブ	タイワン ハブ	ハブ類 咬症合計	ウミヘビ 類	コブラ	ガラス ヒバア
64	424	4					424			
65	350	7	85				435			
66	357	2	121		1		479			
67	389	5	160				549			
68	351	6	167		1		519			
69	323	4	150				473			
70	321	1	137				458			
71	326	2	111				437			
72	239	1	71				310			
73	374	6	36				410			
74	306		31				337			
75	299	3	60				359			
76	268		45				313			
77	292	2	37				329			
78	283	4	48				331		1	1
79	254		71	1			325			
80	226	1	56		1		283	1		
81	210		57				267			
82	183		80		7	1	271			
83	156		37		4		197			
84	188		47		3		238			
85	184		38		21	1	244			
86	180		31		14		225			
87	208		33		21		262			
88	174		39		17		230			
89	179	2	33		18		230	1		
90	157	1	42		15		214	2		
91	170		39		21		230			
92	86	1	37		28		151		1	
93	103		40		18		161			
94	100		44		15		159			
95	124		42		15		181			
96	104		25		8		137			
97	109		23		14		146			
98	93		28		18		139			
99	81	1	27		7		115			
00	82		36		17		135			
01	61		30		6		97			
02	61		32		9		102			
03	63		23		7		93			
04	43		22		3		68			
05	67		26		13	2	108			
06	62		30		10	2	104	2		
07	61		27		8		96			
08	65		21		8	1	95	1		
09	55		33		7	1	96			
10	48		21		9	1	79			
11	62		18		5	3	88			
12	46		33		12	1	92			
計	8947	53	2480	1	381	13	11821	7	2	1

表-3 最近10年間の市町村別毒ヘビ咬症件数

1.ハブ咬症

年	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	計
国頭村	2	1		6	2	1	5	4	3	6	30
大宜味村	1	1		1		3	1		1	0	8
東村	1	1	1		1			1	1	1	7
今帰仁村	1		2	1	1	1	2		1	1	10
本部町	2		1	5		2		1	2	0	13
名護市	1	2	4		2	2	1	3	4	4	23
伊江村	1					2		2	1	2	8
伊平屋村						2			1	2	5
宜野座村		1	1	1	1	2	1			1	8
恩納村			1		1			1		0	3
金武町		1	1	1	1	2	2			0	8
うるま市	1	1									
石川市※	4	2									
具志川市※	3	4	12	6	7	11	4	8	9	3	79
与那城町※	3	1									
勝連町※	4	3	5	2	3		2	2	3	0	24
読谷村					1					0	1
嘉手納町	1			1	2	1		1		1	7
北谷町	2	1	4	3	3	1	6			2	22
沖繩市	2		1			1		1		0	5
北中城村	1	1	2	2	2		1	1	3	1	14
宜野湾市			1		1	4			5	0	11
中城村		1		1	2	3	2		1	2	12
西原町			1	3	1			1		0	6
浦添市	1		1		2				2	0	6
豊見城市	8	7	6	2	2	7	8	9	7	7	63
糸満市	4	4	1		9	8	1	7	2	3	51
八重瀬町	4	2	3								
東風平町★	3	2	3								
具志頭村★		1	2	8	8	4	8	4	2	1	57
南城市	2		2								
玉城村☆	1	4	2								
知念村☆	2		2								
佐敷町☆	1		2								
大里村☆	2		2	2	2	2	1	1	4	1	17
南風原町			1							0	1
与那原町				1						1	2
渡嘉敷村	5	2	6	3	3	7	2	4	5	5	42
久米島町											0
渡名喜村	2		1	4	5	4	2	1	2	3	24
那覇市	1					2		1	1	0	5
不明											
計	63	43	67	62	61	65	55	48	62	46	572

2.ヒメハブ咬症

年	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	計
沖繩県	7	3	13	10	8	8	7	9	5	12	82

3.サキシマハブ咬症

年	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	計
石垣市	13	16	22	20	19	16	21	17	11	22	177
竹富町	7	2	2	7	4	5	7	4	6	10	54
沖繩本島	3	4	2	3	4	0	5	0	1	1	23
計	23	22	23	30	27	21	33	21	18	33	251

4.タイワンハブ咬症

年	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	計
名護市			2	2			1	1	2	1	9
今帰仁村						1			1		1
計					2	2		1	1	1	7

5.ウミヘビ咬症

年	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	計
不明				2		1					3

★東風平町・具志頭村は2006年1月に合併して八重瀬町となったため、2006年以降のデータはまとめている

☆玉城村・知念村・佐敷町・大里村は2006年1月に合併して南城市となったため、2006年以降のデータはまとめている

※石川市・具志川市・与那城町・勝連町は2005年3月に合併してうるま市となったため、2005年以降のデータはまとめている

表-4 2012年受傷市町村別月別毒ヘビ咬症件数

ハブ咬症													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
国頭村			1			1		1	2	1			6
大宜味村													0
東村						1							1
今帰仁村									1				1
本部町													0
名護市						1				1	1	1	4
伊江村					1				1				2
伊平屋村	1						1						2
宜野座村									1				1
恩納村													0
金武町													0
うるま市					1				1	1			3
読谷村													0
嘉手納町													0
北谷町										1			1
沖繩市	1								1				2
北中城村													0
宜野湾市		1											1
中城村													0
西原町					1			1					2
浦添市													0
豊見城市													0
糸満市	2						1		2	1	1		7
八重瀬町								1		2			3
南城市										1			1
南風原町										1			1
与那原町													0
渡嘉敷村													0
久米島町				1		3				1			5
渡名喜村													0
那覇市					1	1				1			3
不明													0
計	0	4	2	1	4	7	2	3	9	11	2	1	46

ヒメハブ咬症

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
国頭村		1			1							1	3
大宜味村					1								1
東村											1		1
本部町				1						1			2
名護市								1		1			2
金武町					1								1
うるま市												1	1
糸満市								1					1
計	0	1	0	1	3	0	0	2	0	3	1	1	12

サキシマハブ咬症

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
糸満市											1		1
石垣市		2	2	4	3	3	2	1	3	1	1		22
竹富町	1	1		3	1		1	1		1	1		10
計	1	3	2	7	4	3	3	2	3	2	3	0	33

タイワンハブ咬症

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
名護市											1		1
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

表-5 2012年 市町村別ハブ類受傷件数と人口千人当り受傷率

順位	受傷場所 市町村	ハブ	ヒメ ハブ	サキシマ ハブ	タイワン ハブ	計
1	石垣市			22		22
2	竹富町			10		10
3	国頭村	6	3			9
3	糸満市	7	1	1		9
5	名護市	4	2		1	7
6	久米島町	5				5
7	うるま市	3	1			4
8	八重瀬町	3				3
8	渡名喜村	3				3
10	東村	1	1			2
10	本部町	1	1			2
10	伊江村		2			2
10	伊平屋村	2				2
10	沖縄市	2				2
10	西原町	2				2
10	大宜味村		1			1
17	今帰仁村	1				1
17	宜野座村	1				1
17	金武町		1			1
17	北谷町	1				1
17	宜野湾市	1				1
17	南城市	1				1
17	南風原町	1				1
18	恩納村					0
18	読谷村					0
18	嘉手納町					0
18	北中城村					0
18	中城村					0
18	浦添市					0
18	豊見城市					0
18	与那原町					0
18	渡嘉敷村					0
18	那覇市					0

順位	受傷場所 市町村	受傷 件数	受傷率 (*)	人口(※) <small>2012年12月1日現在</small>
1	渡名喜村	3	6.8182	440
2	竹富町	10	2.6048	3,839
3	国頭村	9	1.7808	5,054
4	伊平屋村	2	1.5221	1,314
5	東村	2	1.1217	1,783
6	久米島町	5	0.5984	8,355
7	石垣市	22	0.4672	47,093
8	伊江村	2	0.4338	4,610
9	大宜味村	1	0.3100	3,226
10	宜野座村	1	0.1812	5,518
11	糸満市	9	0.1553	57,963
12	本部町	2	0.1452	13,771
13	名護市	7	0.1147	61,039
14	八重瀬町	3	0.1092	27,469
15	今帰仁村	1	0.1083	9,235
16	金武町	1	0.0906	11,042
17	西原町	2	0.0573	34,926
18	北谷町	1	0.0361	27,738
19	うるま市	4	0.0338	118,241
20	南風原町	1	0.0276	36,177
21	南城市	1	0.0249	40,170
22	沖縄市	2	0.0151	132,258
23	宜野湾市	1	0.0107	93,779
24	恩納村	0	0.0000	10,346
24	読谷村	0	0.0000	39,019
24	嘉手納町	0	0.0000	13,709
24	北中城村	0	0.0000	16,134
24	中城村	0	0.0000	18,504
24	浦添市	0	0.0000	112,243
24	豊見城市	0	0.0000	59,332
24	与那原町	0	0.0000	17,699
24	渡嘉敷村	0	0.0000	756
24	那覇市	0	0.0000	319,303

※市町村別人口は沖縄県企画部統計課公表の「平成22年
国勢調査確報値に基づく推計人口データ（2012年12月1日
現在）」による

* 受傷率：人口1000人あたり受傷件数

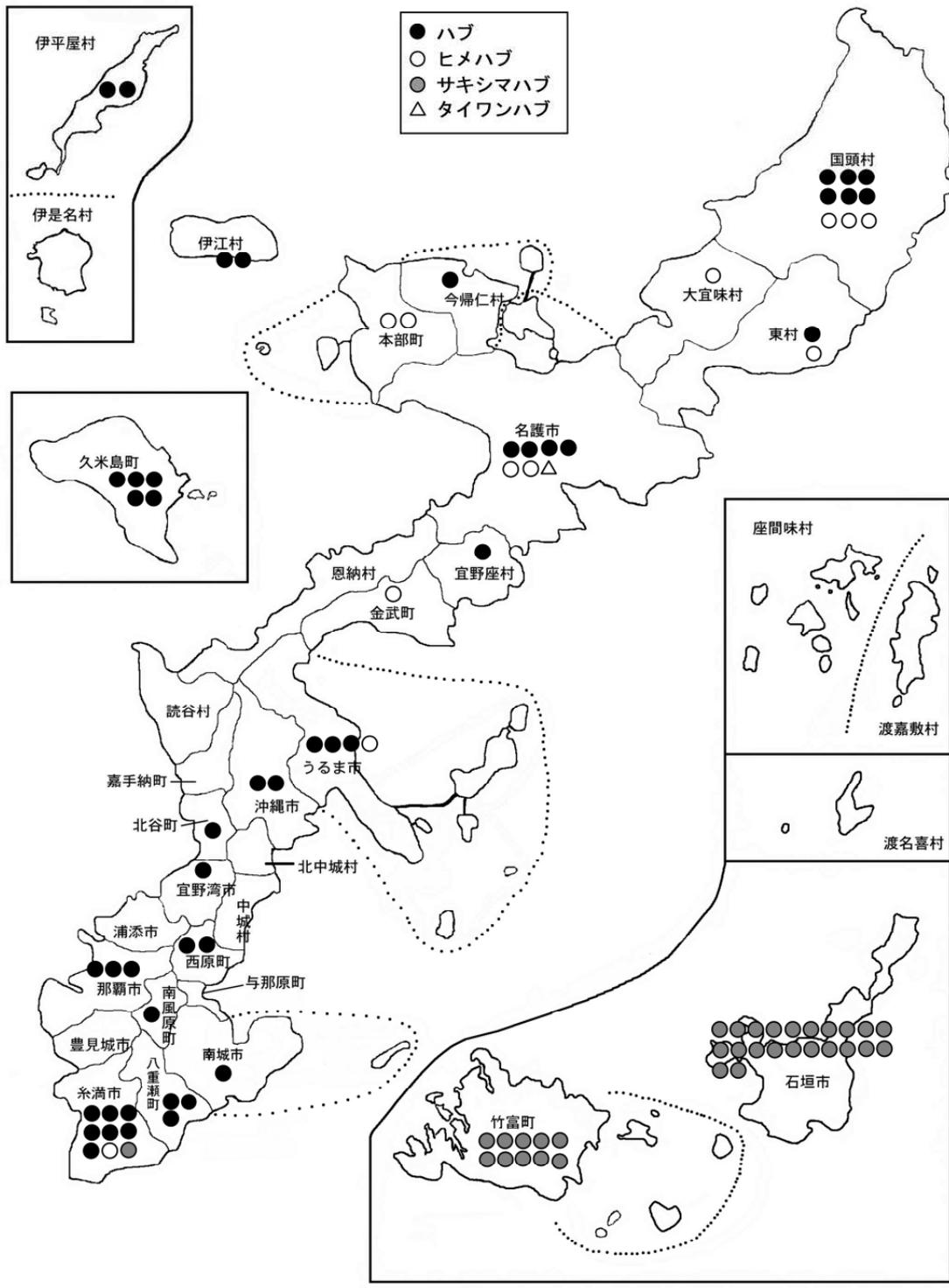


図-4 2012年 市町村別ハブ類咬症件数

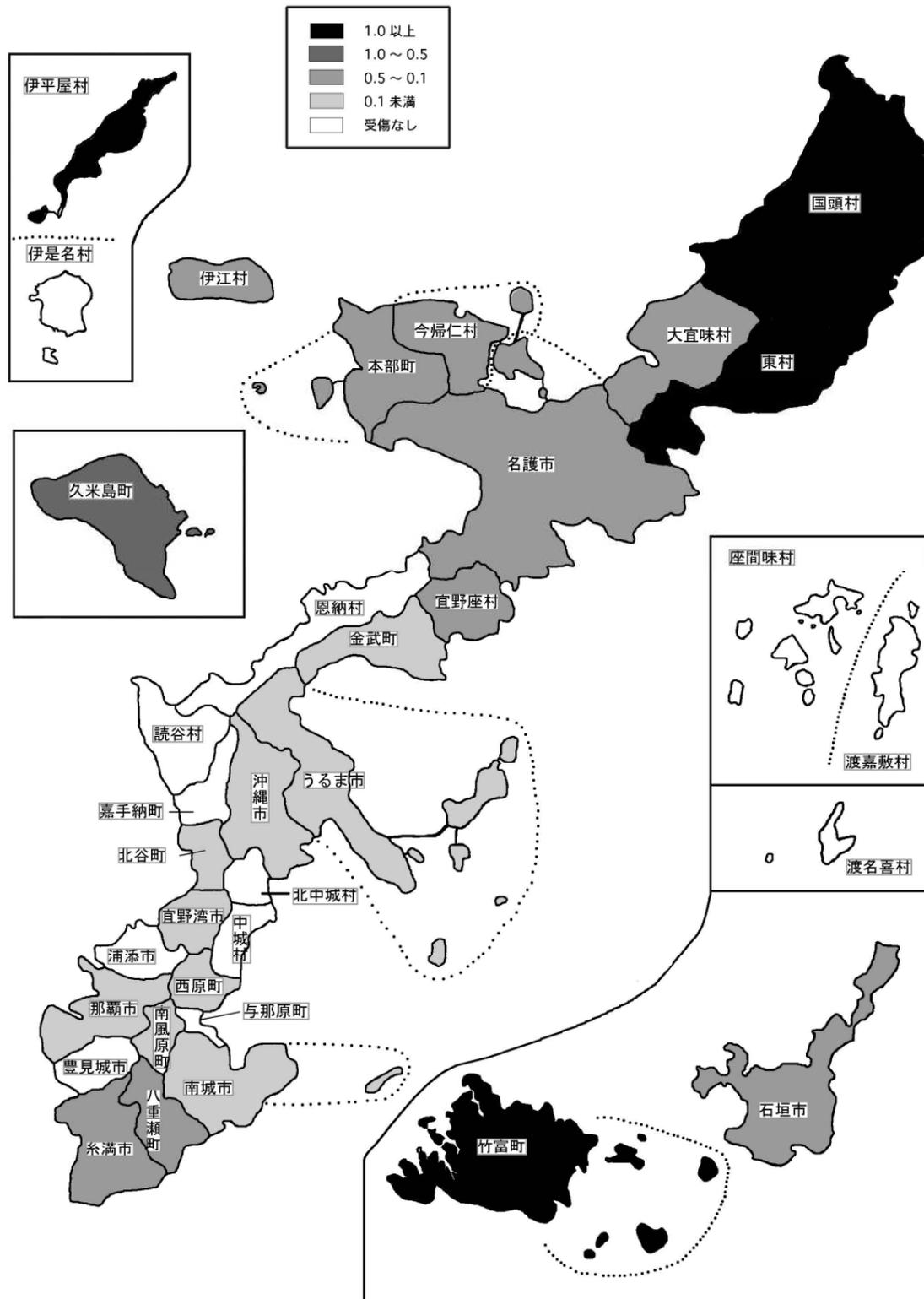


図-5 2012年 市町村別人口千人当たりハブ類受傷率

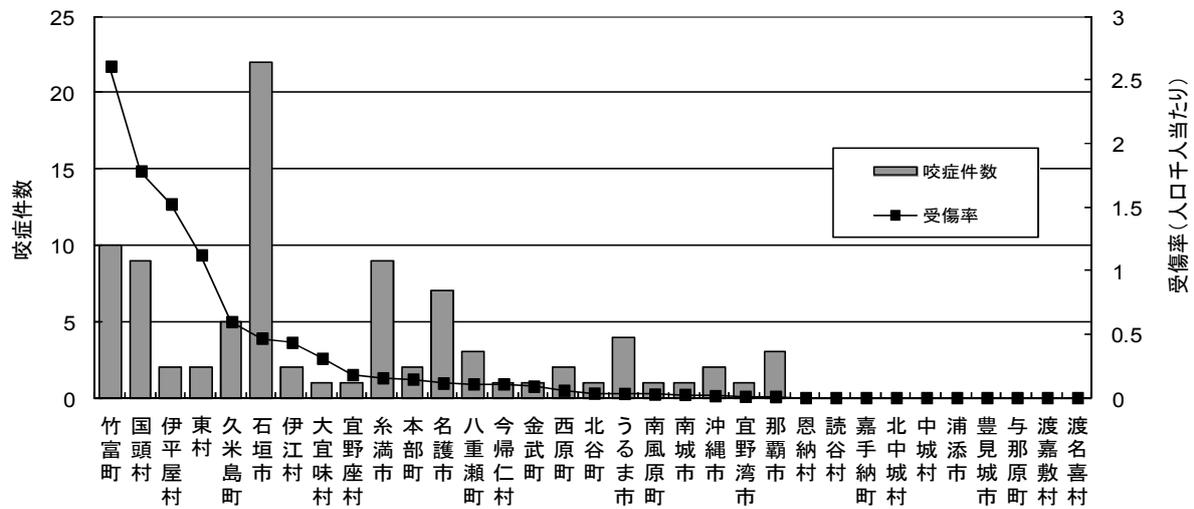


図-6 2012年市町村別ハブ類咬症件数と人口千人あたり受傷率

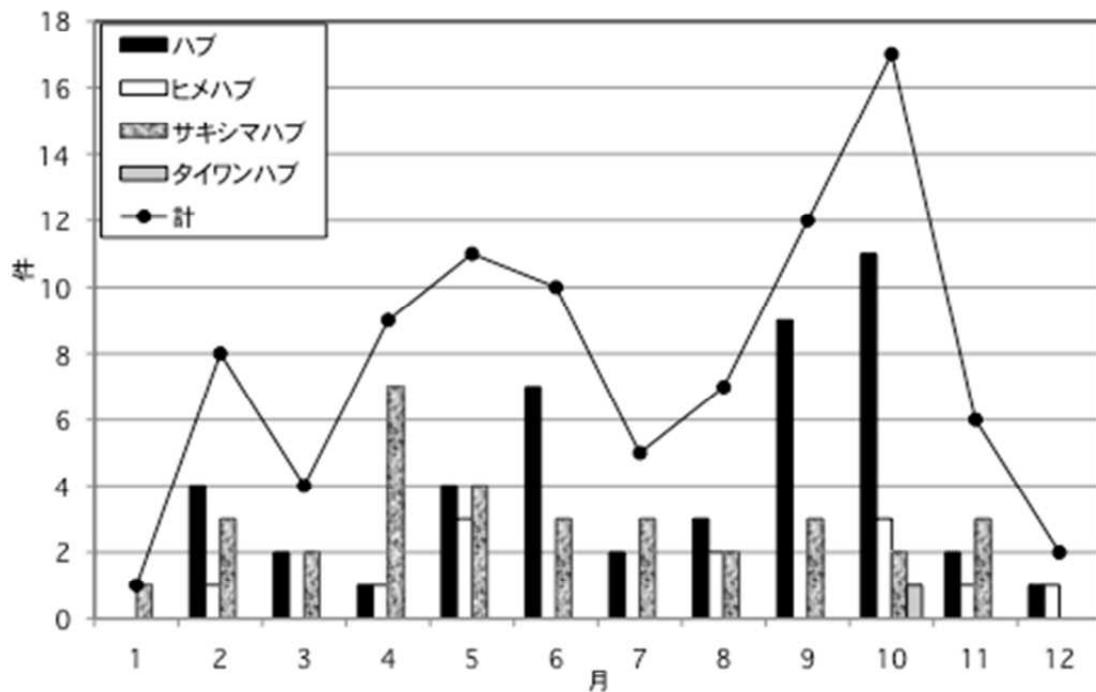


図-7 2012年月別ハブ類咬症件数

表-6 2012年月別ハブ類咬症件数

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
ハブ		4	2	1	4	7	2	3	9	11	2	1	46
ヒメハブ		1		1	3			2		3	1	1	12
サキシマハブ	1	3	2	7	4	3	3	2	3	2	3		33
タイワンハブ										1			1
計	1	8	4	9	11	10	5	7	12	17	6	2	92

表-7 2012年 届出保健所別月別ハブ類咬症件数

保健所	種名\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
北部	ハブ		1	1		1	3	1	1	5	2	1	1	17
	ヒメハブ		1		1	2			1		3	1		9
	台湾ハブ										1			1
	計		2	1	1	3	3	1	2	5	6	2	1	27
中部	ハブ		1			2			1	2	2			8
	ヒメハブ					1							1	2
	計		1			3			1	2	2		1	10
南部	ハブ		2			1	1	1	1	2	5	1		14
	ヒメハブ								1					1
	サキシマハブ											1		1
	計		2			1	1	1	2	2	5	2		16
中央	ハブ			1	1		3				2			7
	計			1	1		3				2			7
八重山	サキシマハブ	1	3	2	7	4	3	3	2	3	2	2		32
	計	1	3	2	7	4	3	3	2	3	2	2		32

表-10 2012年 場所及び時刻別ハブ類咬症件数（四種計）

場所\時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明	計	
屋内			1			1			1												1	1	1		1	7	
屋敷					1	1	1			3			1	1	1	2			1	2	2	2	1	1	2	22	
畑		1	1			1		2	6	8	2	1	1	2	2	3	4	2		1						2	39
道路			1		1		1	1	1			1				1				2							9
山林・草地	1										1	1			1	1	2	1					1				9
その他										1	1	1										1					4
不明																	1								1	2	
計	1	1	3	0	2	3	2	3	8	12	4	4	2	3	4	7	7	3	1	5	4	4	2	1	6	92	

表-8 2012年 場所別咬症件数

場所	ハブ	ヒメ ハブ	サキシマ ハブ	タイワン ハブ	計
屋内	5		1	1	7
屋敷内	11	4	7		22
畑	19	4	16		39
道路	5	1	3		9
山林草地	3	2	4		9
その他屋敷外	3	1			4
不明			2		2
計	46	12	33	1	92

表-9 2012年 動機別咬症件数

動機	ハブ	ヒメ ハブ	サキシマ ハブ	タイワン ハブ	計
就寝中	2				2
用便中					0
室内の他の動作	4	1			5
通行中	7	1			8
キビ刈り中	1		6		7
農作業中	12	1	10		23
草刈り中	8	7	7		22
ハブ扱い中	2		2		4
屋外の他の動作	9	2	6	1	18
不明	1		2		3
計	46	12	33	1	92

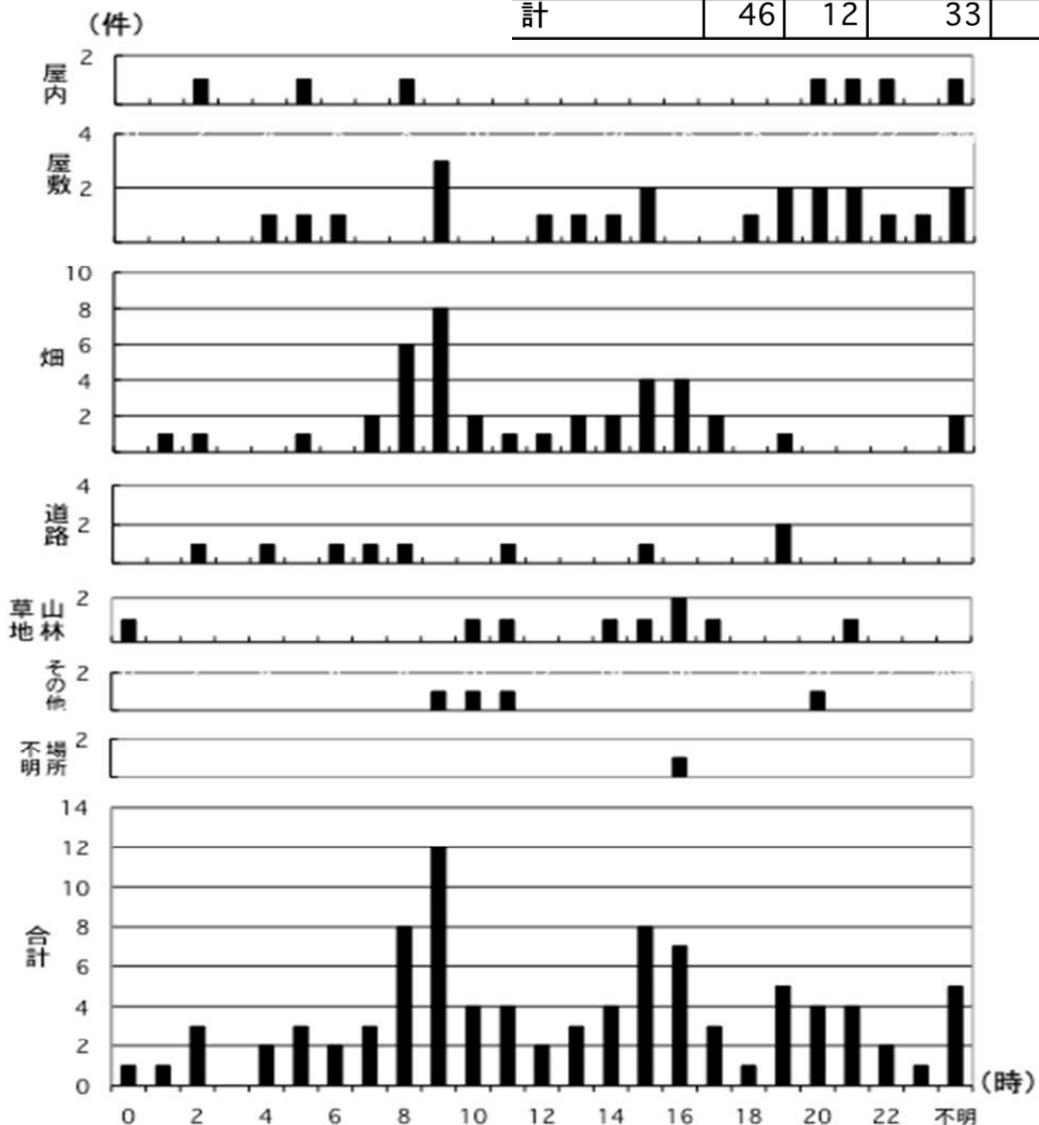


図-8 2012年 時刻別場所別ハブ類咬症件数 (4種計)

表-11 2012年 部位別ハブ類咬症件数

部位\種	ハブ	ヒメ ハブ	サキシマ ハブ	タイワン ハブ	計
手 指	13	9	18		40
手	5		4		9
前腕	7		4		11
上腕			1		1
足 指	1	1	3		5
足	11	2	2	1	16
下腿	7		1		8
大腿					
頭 部	1				1
軀 幹	1				1
計	46	12	33	1	92

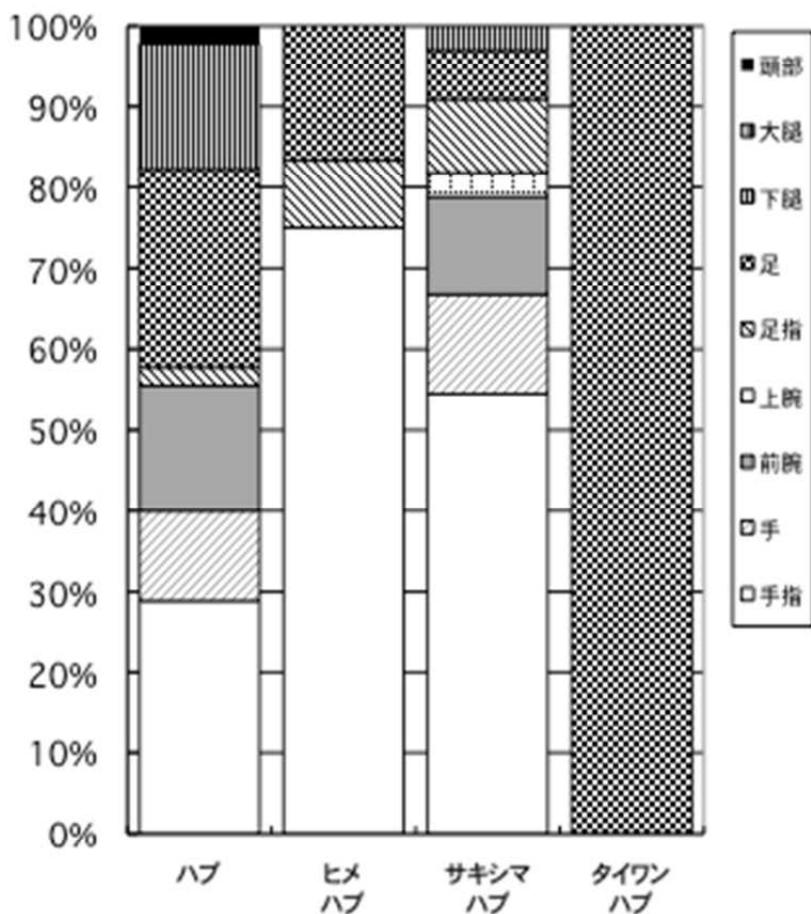


図-9 2012年部位別ハブ類咬症発生率

表-12 2012年 年代別ハブ類咬症件数

種類	年代	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	不明	計
ハブ	男			1	3	2	10	6	8	3			33
	女					2	3	2	3	3			13
	計	0	0	1	3	4	13	8	11	6	0	0	46
ヒメハブ	男				2	1	4	1	2	1			11
	女						1						1
	計	0	0	0	2	1	5	1	2	1	0	0	12
サキシマハブ	男				2	7	5	5	5	2			26
	女				1			1	3	2			7
	計	0	0	0	3	7	5	6	8	4	0	0	33
タイワンハブ	男						1						1
	女												0
	計	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
4種計	男			1	7	10	20	12	15	6			71
	女				1	2	4	3	6	5			21
	計	0	0	1	8	12	24	15	21	11	0	0	92

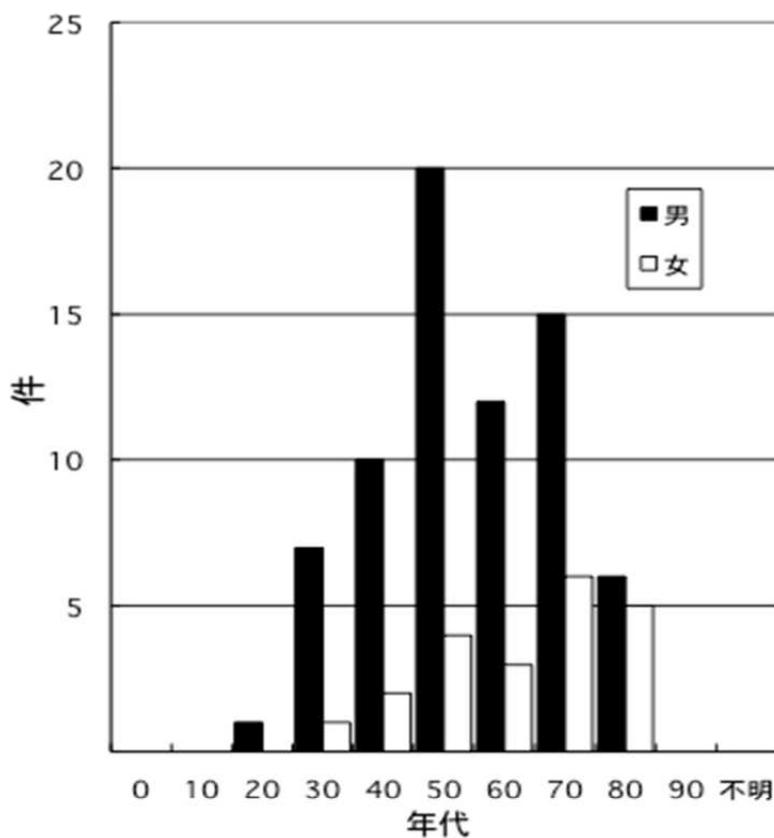


図-10 2012年年代別男女別咬症件数

ハブ咬症患者調査票

連絡先：沖縄県 衛生環境研究所ハブ研究棟
 電話：098-946-6710
 FAX：098-946-6711

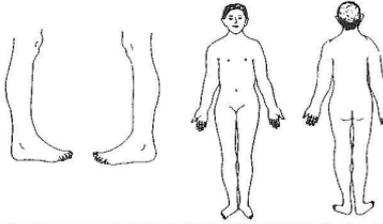
No. _____	
記入者名 _____	
I 病院名 _____	転院名 _____
II 患者名 _____ 年齢 才 _____	1. 男 2. 女 生年月日 (明・大・昭) _____ 年 月 日生
住所 _____ 市・町・村 _____	番地 _____ 自宅電話番号 () _____
職業 _____	職場電話番号 () _____
III 受傷日 _____ 年 月 日	午前・午後 _____ 時 分
IV 受傷場所 _____ 市・町・村 _____ 番地 _____	V 受傷動機
0. 不明	0. 不明
屋内 1. 居間・寝室・その他 ()	1. 就寝中 2. 室内におけるその他の活動 3. 用便中
2. 台所 3. 便所・風呂	4. 通行中
屋敷内 4. 庭 4. その他 (畜舎・便所・車庫・鶏小屋)	5. キビ刈中 6. 農作業中 7. 草刈中
田畑 5. キビ畑 6. パイン畑 13. 水田	8. ハブ取扱中・採取中
7. その他の畑 (イモ・野菜・不明)	9. その他 ()
道路 8. 農道 9. その他の道路 (山道・部落内道路・不明)	VI 蛇の種類
原野 10. 原野・草地 11. 山・森林	ハブ・ヒメハブ・サキシマハブ
12. その他 (川・沼・池・海岸・墓地)	アカマタ・わからない
VII 受傷部位	
0. 不明 21. 頭部 25. 顔幹	
上 左 1. 左第 指 3. 左手 5. 左前腕 7. 左上腕	
肢 右 2. 右第 指 4. 右手 6. 右前腕 8. 右上腕	
下 左 11. 左足第 指 13. 左足 15. 左下腿 17. 左大腿	
肢 右 12. 右足第 指 14. 右足 16. 右下腿 18. 右大腿	
VIII 応急処置	X 局所症状
処置方法	1. 疼痛 (+, -), 腫張 (+, -), 出血 (+, -)
A 1. 緊縛せず 2. 緊縛した 0. 不明	2. 牙痕数 ()
B 1. 吸引せず 2. 吸引した 0. 不明	3. 今回の受傷状況 (被咬回数 1回 2回 3回)
C 1. 切開せず 2. 切開した 0. 不明	4. これまでに何回かまれたことがあるか (過去 回)
IX 受傷より血清治療までの時間	XI 血清について
0. 不明 1. 30分以内 2. 1時間以内	血清量 _____ ml
3. 2時間以内 4. 4時間以内 5. 4時間以上	注射法 0. 不明 1. 静脈注射 2. 局所注射 (受傷部)
6. 血清治療せず	3. その他 (受傷部以外の筋注など)
	4. 注射せず
XII 治療期間	
治療日数 0. 不明 1. 2~3日 2. 1週間 3. 2週間	
4. 1ヶ月 5. 2~3ヶ月 6. 3ヶ月以上	
入院日数 _____ 日	
XIII 予 後	
0. 不明 1. 完全治癒・リハビリをした 2. 完全治癒・リハビリをしない 5. 瘢痕形成	
7. 機能障害 (含切断) リハビリをした 8. 機能障害 (含切断) リハビリをしない	
10. 死亡 (_____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時)	

図-11 ハブ咬症患者調査票